

令和元年度第 1 8 回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	令和 2 年 2 月 1 5 日（土）	午後 2 時
場	所	八王子市役所 事務棟 8 階	8 0 1 会議室

第 18 回定例会議事日程

- 1 日 時 令和 2 年 2 月 1 5 日 (土) 午後 2 時
- 2 場 所 八王子市役所 事務棟 8 階 8 0 1 会議室
- 3 会議に付すべき事件
 - 第 1 第 7 6 号議案 令和 2 年度統括校長を設置する学校の指定に関する事務処理の報告について
 - 第 2 第 7 7 号議案 八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理の報告について
 - 第 3 第 7 8 号議案 八王子市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則設定について
 - 第 4 第 7 9 号議案 八王子市教育委員会パートタイム会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則設定について
 - 第 5 第 8 0 号議案 令和元年度 (2 0 1 9 年度) 八王子市教育委員会表彰について
- 4 協議事項
 - ・市立長房中学校区における学校再編について (学校教育政策課)
 - ・生涯学習センタービル大規模改修基本構想 (骨子案) について (学習支援課)
- 5 報告事項
 - ・令和 2 年度 (2 0 2 0 年度) 教育予算の内示状況について (学校教育部・生涯学習スポーツ部・図書館部)
 - ・令和元年度八王子市学校保健会表彰の受賞校決定について (保健給食課)
 - ・令和元年度東京都教育委員会表彰 (健康づくり功労) の受賞校決定について (保健給食課)
 - ・令和元年度全国健康づくり推進学校表彰の受賞校決定について (保健給食課)
 - ・八王子市立庄中学校合同作品展第 1 5 回「おおるり展」の実施結果につ

- | | |
|-------------------------|--------|
| いて | (指導課) |
| ・第11回中学生「東京駅伝」大会の結果について | (指導課) |
| ・市立小学校児童に係る事故への対応状況について | (指導課) |
| ・高齢者叙勲の受章について | (教職員課) |
| ・死亡者叙位の受章について | (教職員課) |

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
委 員	笠 原 麻 里
委 員	川 島 弘 嗣

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	設 樂 恵
学校教育部指導担当部長	斉 藤 郁 央
学校給食施設整備担当課長	小 林 順 一
教 育 総 務 課 長	渡 邊 聡
学 校 教 育 政 策 課 長	橋 本 盛 重
施 設 管 理 課 長	松 土 和 広
保 健 給 食 課 長	田 倉 洋 一
教 育 支 援 課 長	山 田 光
指 導 課 長	溝 部 和 祐
統 括 指 導 主 事	野 村 洋 介
統 括 指 導 主 事	上 野 和 広
生涯学習スポーツ部長	小 山 等
歴史文化構想担当課長	平 塚 裕 之
生涯学習政策課長	安 達 和 之
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	清 水 秀 樹

スポーツ施設管理課長	佐藤晴久
学習支援課長	新堀信晃
文化財課長	菅野匡彦
こども科学館長	遠藤譲一
図書館部長	佐藤宏
中央図書館長	高野芳崇
生涯学習センター図書館長	新納泰隆
南大沢図書館長	中村東洋治
川口図書館長	成田俊雄
指導課指導主事	鈴木崇央
教育総務課主査	峰尾晃彦
学校教育政策課主査	持田勝
指導課指導主事	福島裕子
教職員課課長補佐兼主査	今井明
教育総務課主査	長井優治
教育総務課主事	小山ちはる
教育総務課主事	池上光
教育総務課嘱託員	古瀬村温美

【午後 2 時開会】

安間教育長 定刻になりました。本日、柴田委員及び伊東委員から欠席の報告がございましたが、出席 3 名でございますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより令和元年度第 18 回定例会を開会いたします。

本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、川島弘嗣委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本日の議事でございますが、第 77 号議案については人事に関する案件であり、第 80 号議案及び報告事項「市立小学校児童に係る事故への対応状況について」は審議内容が個人情報に及ぶため、また協議事項「市立長房中学校区における学校再編について」及び「生涯学習センタービル大規模改修基本構想（骨子案）について」は、いまだ意思形成過程のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条第 7 項及び第 8 項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

安間教育長 それでは、議事を進行いたします。

日程第 1、第 76 号議案 令和 2 年度統括校長を設置する学校の指定に関する事務処理の報告についてを議題に供します。

本案について、教職員課から説明願います。

溝部教職員課長 それでは、第 76 号議案 令和 2 年度統括校長を設置する学校の指定に関する事務処理の報告につきまして、担当の今井課長補佐から説明いたします。

今井教職員課課長補佐兼主査 それでは、第 76 号議案 令和 2 年度統括校長を設置する学校の指定に関する報告について、御説明をいたします。

本件は、八王子市立学校の管理運営に関する規則第 6 条の 2 及び統括校長を置くことができる学校の基準の第 3 の規定に基づき、令和 2 年度統括校長を設置する学校を指定するものでございます。

本指定については、本委員会で決定すべきところ、地方教育行政の組織及び運営

に関する法律第38条に基づく人事の内示の提出期限が2月14日であったため、八王子市教育委員会の権限委任に関する規則第4条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、事務処理をいたしましたので、同条第2項の規定により報告し、承認をいただくものでございます。

それでは、議案の裏面を御覧ください。

令和2年度に統括校長を設置する学校として指定いたします学校は、いずみの森義務教育学校、館中学校、加住中学校、みなみ野中学校の4校でございます。4校ともに指定の根拠は添付しました議案関連資料、統括校長を置くことができる学校の基準第2(2)でございます。今回、新規に指定する学校は、いずみの森義務教育学校と館中学校の2校であります。

まず、いずみの森義務教育学校については、本市の重点施策である義務教育学校としての開校に伴うものでございます。

また、館中学校については、地域や保護者から学校周辺の更なる魅力を高める学校としての取組を求められていることを踏まえ、従来より東京都へ要望していたところ、今回新規に東京都から内報があったものでございます。

なお、館中学校は加住中学校、みなみ野中学校と同様に八王子市教育委員会の重点施策であります小中一貫校であり、校長1名、副校長3名という管理職の特例措置が認められている学校でございます。

説明は以上でございます。

安間教育長 只今、教職員課からの説明は終わりました。

本案について、何か御質疑ありますか。

よろしゅうございますか。設置校が1校増えたということです。

それでは、本案についての御意見をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

ないようでございますので、お諮りをいたします。

只今、議題となっております第76号議案については、原案のとおり承認するという事で御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、御異議ないものと認めます。

よって、第76号議案については、そのように承認することにいたします。

安間教育長 日程第3、第78号議案 八王子市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則設定についてを議題に供します。

本案について、教育総務課から説明願います。

渡邊教育総務課長 八王子市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則設定について、詳細は担当の峰尾主査より説明申し上げます。

峰尾教育総務課主査 それでは、第78号議案 八王子市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則設定について、説明させていただきます。資料2枚目にあります議案関連資料に沿って説明させていただきます。

1、改正の概要についてですが、平成29年5月17日公布「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」の令和2年4月1日施行に伴い、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、学校運営協議会について規定されている条の枝番号が繰り上がるため、規則の番号を改正するものでございます。

また、規則中の「八王子市立学校」の定義が不明確であり、八王子市立看護専門学校も含むものと解されるおそれがあること、いずみの森義務教育学校が設置されることから、表記を修正するものでございます。

規則の施行は、令和2年4月1日を予定しております。

以上で説明は終わります。

安間教育長 只今、教育総務課からの説明が終わりました。

本案について、御質疑ありませんか。よろしゅうございますか。

それでは、御意見をいただきたいと思いますが。いかがでしょう。

これもよろしゅうございますか。

それでは、お諮りをいたします。

只今、議題となっております第78号議案については、原案のとおり決定するという事に御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

よって、第78号議案については、そのように決定することにいたしました。

安間教育長 日程第4、第79号議案 八王子市教育委員会パートタイム会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則設定についてを議題に供します。

本案について、教職員課から説明願います。

溝部教職員課長 八王子市教育委員会パートタイム会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の設定について、担当の今井課長補佐から説明いたします。

今井教職員課課長補佐兼主査 それでは、第79号議案 八王子市教育委員会パートタイム会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の設定について御説明をいたします。

9枚ほどめくっていただきまして、議案関連資料を御覧ください。

まず、制定の理由について御説明をいたします。

平成29年5月17日に、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が公布され、令和2年度から会計年度任用職員制度が導入されます。これに伴い、現在の嘱託員は会計年度任用職員の専門職に、特例臨時職員及び一般臨時職員は会計年度任用職員のアシスタント職になります。

この会計年度任用職員の給与等について定めるため、市長部局において、八王子市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例が制定され、同条例の附則で、職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例を改正し、パートタイム会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等については、任命権者が別に定めることとされました。

そこで、教育委員会においても市長部局で定めた規則に準じた内容の規則を制定するものでございます。

本規則は原則的に国と同様の休暇を定めておりますが、本市独自の休暇として早期流産休暇、育児参加休暇を専門職は有給で、アシスタント職は無給で設けております。

また、専門職の妊娠症状対応休暇、早期流産休暇、育児時間、ドナー休暇、子ども看護休暇及び短期の看護休暇について、国は無給の休暇ですが本市は有給としております。

施行は令和2年4月1日でございます。

説明は以上でございます。

安間教育長 只今説明が終わりました。

本案について、御質疑はございますか。

笠原委員 このパートタイム会計年度任用職員という方は、基本的にはどういう職員の方を指すのでしょうか。

溝部教職員課長 例えば、スクールサポートスタッフは、臨時職員でありますけども、これが会計年度任用職員に名前が変わるとい形になるところでございます。現行の嘱託員は、会計年度任用職員専門職になるとい形でございます。

笠原委員 そうしますと、教員資格を持っていらっしゃる方とは限らないという認識でよろしいでしょうか。

溝部教職員課長 教員資格を持っている方もいらっしゃいますし、持っていない方もいらっしゃるという形になります。

安間教育長 他に御質疑はございますか。よろしゅうございますか。

それでは、御意見をいただきたいと思ひます。いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、お諮りをいたします。

只今、議題となっております第79号議案については、原案のとおり決定することに御異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

よって、第79号議案については、そのように決定することにいたしました。

安間教育長 それでは、続きまして報告事項となります。

まず、学校教育政策課から報告願ひます。

橋本学校教育政策課長 それでは、令和2年度教育予算の内示状況について、御報告をいたします。

令和2年度教育予算につきましては、去る令和元年11月13日開催の第13回教育定例会におきまして決定をいただき、八王子市長に調製依頼をしたところですが、先週2月4日に財務部から原案の内示があり、6日には市長が記者発表をしたところであります。

そこで、教育委員会に係る令和2年度予算案の概要について、記者発表資料をもとに御報告するものでございます。

なお、本件予算案につきましては、令和2年第1回市議会定例会において、議案として審議され、可決された場合に確定となりますので、念のため申し添えます。

詳細につきましては、学校教育政策課持田主査より御説明いたします。

持田学校教育政策課主査　それでは、説明いたします。

資料の1ページを御覧ください。令和2年度の予算規模でございます。

一番上の行、令和2年度の一般会計予算額でございますが、今年度に比べ180億円減の2,009億円となっております。また、特別会計は、本年度に比べ194億2,000万円減の1,842億円。下水道事業については、新たに公営企業会計に移行し下水道事業会計として245億9,000万円となっているところでございます。

これにより、一般会計、特別会計、公営企業会計の総額は本年度に比べ56億3,000万円減の4,096億7,000万円となっております。

続きまして、資料2ページを御覧ください。一般会計予算、初めに歳入でございます。

一番上の行、1款の市税でございますが、税制改正の影響により、法人市民税が減額となるものの、景気回復により個人市民税や固定資産税が増となり、今年度に比べておよそ600万円増の912億3,000万円を計上しております。

続いて、右側の3ページを御覧ください。歳出でございます。

ここでは、教育費のみの説明とさせていただきます。10款教育費でございます。新たに給食センター方式による給食の提供に係る経費が増となっておりますが、いずみの森小中学校、給食センター、富士森公園陸上競技場の整備に係る経費が減となったことから、前年度に比べて23.6%減の206億7,000万円となっております。

続きまして、4ページを御覧ください。ここからは教育委員会が所管します令和2年度の主な新規充実事業を中心に説明をさせていただきます。

なお、表中の(新)とあるものは、令和2年度の新規事業。充実の(充)と記載のあるものは、内容の拡大、充実を図る事業を示しております。

それでは、初めに4ページの子どもの安全対策でございます。保護者、地域、警察などによる通学路の合同点検の際、防犯カメラの設置が犯罪抑止に効果的であるとされた箇所に防犯カメラを15台増設いたします。

続いて、右側の5ページ、「家庭との連携」でございます。こちらは、更なる相談体制の充実を図るため、家庭と子どもの支援員及びスーパーバイザーの配置校を9校から14校へ拡大するものでございます。

次に、裏面6ページ、「国際理解教育の推進」でございます。東京2020大会が実施される令和2年度は、令和元年度に引き続きまして、各学校が企画提案する「豊かな国際感覚を身に付けることができる」取組について、支援を行うものでございます。また、東京2020大会のレガシーを継承するため、東京都から配分される観戦チケットを活用し、全ての児童・生徒が直接大会を観戦するための交通費を計上しているところでございます。

続きまして、右側の7ページ、「学力向上」でございます。一人ひとりの学力に応じたきめ細やかな学習指導を推進するため、アシスタントティーチャーを36人から43人に増員を図ります。また、令和3年度から、都立高等学校の入試において、「話す」力を評価するため、スピーキングテストが導入されることから、中学校で個々の学力に応じた事業を実施するための英会話アプリケーションを導入いたします。加えて新小学校学習指導要領において、プログラミング教育が必修化されることから、効果的な事業を実施するための「プログラミング教育教材」を導入いたします。

続きまして、8ページ、「がん教育の推進」でございます。こちら、新中学校学習指導要領におきまして、がん対策基本法に基づく「がんに関する教育」が明記されたことから、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めるため、市内全中学校の2年生を対象に、保健体育の授業で医師によるがん教育を実施いたします。

次に9ページ、奨学金の支給でございます。これまで1万円であった一般奨学金の月額支給額を1,000円増額して1万1,000円といたします。

次に、10ページを御覧ください。「情報教育の基盤整備」でございます。国が推進するGIGAスクール構想実現のため、幅広い知見を持つスクールアドバイザーを新たに配置いたします。また、ICTを活用した分かりやすい授業を実現する

ため、書画カメラ、プロジェクタといった教材提示装置を通級指導学級に追加配備いたします。

右側 11 ページを御覧ください。「部活動の推進」でございます。更なる教員の負担軽減及び部活動の充実を図るため、教員にかわって指導や大会への引率にあたる部活動指導員を増員し、配置校を 8 校から 12 校に拡大いたします。

次に、12 ページでございます。令和 2 年 4 月に開校します、いずみの森義務教育学校の、施設整備工事を引き続き進めてまいります。新校舎の供用開始は、令和 2 年 2 月からとなり、それ以降、第六小学校校舎等の解体工事、校庭整備工事を行ってまいります。

次に、13 ページ、第二小学校・第四中学校改築でございます。老朽化が進む両校を改築統合し、新たに義務教育学校を整備いたします。令和 2 年度は整備する施設の基本設計を行うとともに、令和元年度に引き続き改築検討委員会において、地域や学校関係者等から広く意見を伺い、義務教育学校の取組や第二小学校の跡地の利活用等について検討を進めてまいります。

資料、裏面を御覧ください。14 ページ、給食センターの整備でございます。令和 2 年 4 月から、元八王子と南大沢、2 つの給食センターが開業し、中学校 11 校で温かい給食の提供を開始いたします。また、3 施設目となる元横山整備工事を進めるとともに、4 施設目となる檜原ほか 1 施設の設計等に着手いたします。

資料 16 ページを御覧ください。生涯学習の振興でございます。人生 100 年時代を見据え、年齢に関わりなく社会人をはじめ、市民のライフキャリアの形成につながるため、関係機関や大学等と連携し、学び直しに役立つ講座情報を一元化したウェブサイトを構築し情報を発信してまいります。また、令和元年度から事業を開始しました出張体験講座の実施校を 6 校から 10 校に拡大し、子どもたちにスポーツや文化・芸術など体験ができる授業の充実を図ってまいります。

続きまして、右側の 17 ページ、「放課後子ども教室」でございます。引き続き児童の居場所対策の充実を図るため、実施校を 66 校から 67 校に、また週 5 日実施校を 30 校から 35 校に拡大するとともに、実施時間を延長し学童保育所と連携した放課後の居場所づくりを一体的に推進いたします。

続いて、資料裏面を御覧ください。18 ページ、「青少年海外交流」ございま

す。異文化交流を通じて青少年の豊かな国際感覚を育成するため、海外友好都市である台湾の高雄市に市内の中学生を派遣します。これまで、派遣内容につきましては部活動や読書感想文コンクールの上位入賞者より選出をしておりましたが、派遣団員である中学生を公募により選出するとともに、事前研修の充実を図ってまいります。

次に、19ページ、「郷土資料館の管理運営」でございます。八王子駅南口集いの拠点への移転に向け、郷土資料館の収蔵資料の整理やデータベース化を行います。また、移転までの間、八王子駅付近において、歴史文化基本構想の情報発信拠点として本市の歴史遺産に関する資料の展示を行うための仮移転に向けた設計等を行います。

続きまして、20ページ、屋外運動施設の管理運営でございます。利用者の利便性向上のため、富士森公園陸上競技場（東京フットボールセンター八王子富士森競技場）内に屋内運動施設の整備を行うほか、利用環境改善のため、富士森公園野球場（ダイワハウススタジアム八王子）や上柚木公園野球場の改修など、施設の整備工事を行ってまいります。

資料を1枚めくっていただいて、22ページ、甲の原体育館の管理運営でございます。利用者の安全で快適な利用環境の確保及び施設の機能維持を図るため、大規模改修工事に向けた調査を行うほか、隣接する東京婦人補導院・八王子少年鑑別所跡地を活用して、利便性の向上及び災害発生時の機能強化を図るための整備活用方針を策定いたします。

説明は以上でございます。

安間教育長　　只今、学校教育政策課からの報告は終わりました。

本件について、御質疑がございましたらいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

笠原委員　　幾つかあるんですけども、まず、子どもの安全対策のところでは防犯カメラの設置ということで、八王子だけのことでなくて、全国の色々な状況においてとても必要なことだと思っています。現在、通学路での防犯カメラ設置がそもそもあるのか、あれば何台なのか、この15台というのがどのぐらいの数字なのかがちょっと知りたくて、教えていただければと思います。

田倉保健給食課長 資料の中ほどにもございますが、通学路の防犯カメラにつきましては、現在、小学校1校につき5台を設置しておりますので345台設置しております。これに加えて、一昨年の新潟の小学生の殺害事件を受けて、全校で緊急合同点検を行いました。その際に、防犯カメラの設置が最も効果的な防犯対策であると、地域の方、警察の方から意見をいただいた15か所について、今回設置をするものでございます。

笠原委員 ありがとうございます。資料を見落としていました、ありがとうございます。

もう1つは、これ安全対策にあった、ブロック塀の件は、その後どうなっているのか。ちょっと今お話が出てなくて、点検していただいて、何か所かはもう周知したということは聞いておりますが、それに対してはどうでしょうか。

田倉保健給食課長 学校のブロック塀につきましては、耐震基準を満たしていないところについて改修を行いました。通学路のブロック塀については、個人の所有になっているものが大半であるため、市の住宅の部署のほうで助成をしている制度について先ほど申し上げました通学路の緊急合同点検の時に、各家庭にポスティングを行って、制度の周知を行っております。改修率がどのくらいかというところは、申し訳ございません、資料がないので分かりませんが、一定程度申請が出てきて、高いブロック塀を取り除いて低いブロック塀になっているところがあるというふうに聞いております。

笠原委員 そういう確認などもできれば報告していただきながら、予算に上げる必要がないのであれば問題ないかと思うんですけれども、今後また必要があれば検討していただかなければいけない案件ではないかと思うので、もし、現状が把握できるのであればしていただければと思っております。

川島委員 笠原先生とちょっとかぶるのですけれども、防犯カメラの設置の依頼というのは、恐らく、保護者の方から今までも話をしているのですが、これ15台というのは、次年度は15台ということですが、それ以降、例えば、また要望のとり直しをしながら、また増やしていくという可能性はあるのでしょうか。

田倉保健給食課長 今回の緊急合同点検は全校において行っております。そのほかの危険箇所につきましては、防犯カメラ以外の方法で防犯の効果が見い出せるという

ふうに現地で確認をしておりますので、今回設置する15台以降につきましては、通学路の防犯カメラという制度だけではなくて、町会が市の助成制度を活用して設置、維持管理について市のほうで助成を行って設置する制度もございますので、そちらとあわせていくことになると思います。

川島委員 分かりました。ありがとうございます。

安間教育長 よろしゅうございますか。

では、私のほうから。7ページの件なのですけれども、このスピーキング力の向上にせよ、プログラミング教育の推進にせよ、色々と皆様方よく考えて、対応だとかそういったことで良いアイデアを出して進めていただいているのですが、アピールが足りないのではないのでしょうか。このスピーキング力の向上にしても、中学生は都立高校の入試でスピーキングの試験が出る。だから、自分で無料で練習できるのですよね、1、2か月。これは、もの凄く活用をうながすべきことだと私は思います。

直近で思い出すのが、学校のホームページから英会話の訓練ができるソフトを自分で開発したのですね、八王子市独自で。全国で探したってないと思いますよ。今日も傍聴に来られているかもしれないけど、PTAの方々は、そういうのがあるのを知らないのではないですかね。知らないということは、子どもが利用できないということですから、せっかくお金をかけてそういう良いものを作ったとしても、もっとどんどん子どもたちに周知して、実際にこれを使ってもらえるようにしないと、宝の持ち腐れですから。ぜひ、こういうような新教育課程に対応して新たな取組をやっているという話にしても、この予算案の説明だけを聞くと、中学2年生でまず4校で始めて、中学3年生になったときやっと全校実施になるのでしょうか。他の学年の子はどうなのですかと疑問が出てくる。しかし、この事業とは別に、それはそれでちゃんとやっているわけでしょう。ぜひ、英会話に関しては力を入れているということはあらゆる機会を通じて周知してもらいたい。個人でどんどんリスニングもスキッピングもできる状態になるのだと。学校が授業の中だけでできるわけがないのだから、どんなところで活用し、子どもの力をつけていくのかというアピールをしていくんだと、そんなような点をぜひ考えてもらいたい。

また、プログラミング教育にしても、これはコンセプトとすると、学校の先生に

全部、プログラミング教育始まりましたからやってくださいね、と任せるわけではないのです。教育委員会から各学校に持ち込みでプログラミング教育の概念だとか基礎というのを子どもたち全員に、ある特定の学年の子に教えるのですよね。手前みそだけど、私が広報担当なら、どっちだってかなり飛びつくような中身だと思うのですよ。だから、周知できないというのでは、やっぱりちょっと寂しいのでね。せっかく新規事業でこういうふうに行っている以上、それが子どもたちにちゃんと使われるということを、もっと念頭に置いて、アピールをしっかりとしてもらいたい。

これを例で言いましたけれども、GIGAスクール構想も、本格的に入っていくという決議がこの予算の中に入っているわけだから。そうなった時に、せっかく各普通教室に1台入っている書画カメラが使われていない状況があるのだとするならば、そこは何が問題なのか。そういった点に、もうちょっと注力をして学校を指導していくべきではないかというふうに思います。

限られた予算の中で、また今年も教育費10%確保してもらったわけで、教育に力を入れていくというのが本当によく分かります。つくづく思いますけど、10%超えというのは、他の自治体と比べても遜色ないわけで、それだけ教育に力を入れてもらっているわけだから、やっていますというだけにしないで、どう子どもたちに還元できているのかということ、我々はしっかりと示していきたいと思います。これは私の決意も含めて申し上げました。ぜひ、御留意をください。

他に御意見等ございますか。

笠原委員 細かいところですが、また確認させてください。

8ページのがん教育に関しては、外部講師、医師等と書いてあるのですが、何人ぐらいの外部講師の方に依頼されているか。それから、例えば、複数の方がいらしたときに中身が少し変わるのではないかと思うのですが、この辺は教育委員会としてはどんなふうを考えているかということ。

それから、ちょっと話があったと思うのですが、今、教育長がおっしゃったように、10ページのICTのところ、カメラが使われていないのはもったいないと思うのもあるのですが、カメラ及びプロジェクタということは、両方がそろえることが目標になっているのか、どちらかあればよいということなのか、ちょっとその辺を教えていただければと思います。

あと、ICTに関しては、現場の先生方からは、恐らくプロジェクタだけではなくて、もっと色々なものが欲しいのではないかと、道具って結構必要なのではないかと、思うのですけれども、そういうものに対しても何か検討がなされているのかどうかということ。

また、16ページ、生涯学習のところ、地域で講座・イベント情報システムの構築というのがあって、さっき教育長が言われたように、情報を上げていかなければいけないので皆様に伝わるようにしていただくのが大事だと思うのですが、多分、これは高齢者の方たちも利用されることになると思うけれど、高齢者に何か配慮したような情報システムになっているかどうか、その辺をちょっと教えていただきたいと思います。

上野統括指導主事　　まず初めに、がん教育についてでございます。がん教育につきましては、東京都のほうで、令和4年度から全校で中学2年生対象実施ということで、本市は先行で動いているところでございます。

まず、大きな課題としては、やはり専門医によるということが言われておりますので、医師の確保ということが挙げられております。現在の取組といたしましては、東海大学附属病院、それから東京医大八王子医療センター、そして日医大永山病院のほうに訪問いたしまして、医師の派遣を要請しているところでございます。3大病院とも前向きに捉えていただいて、今現在は全校から希望日を取りまして、それを3大学に振り分け、3大学から何名の医師を出してもらえるかということの、調整を図っているところでございます。病院のお医者様も忙しいので、どこまで出してもらえるかということがこれからの課題になりますが、それ以外にも医師を出してくれるという声がありますので、そういうところも踏まえ、全校実施に向けた取組を進めているところでございます。

それから、中身の教材につきましては、文部科学省のほうからある程度の手本となる教材は示されておりますし、私どもが今持っている教材もありますので、今後、医師と確認をしながら、中身がより良いものになるような検討をあわせて行っているのが現状でございます。

がん教育については、以上でございます。

渡邊教育総務課長　　笠原委員の2点目の御質問でございますけれども、この上段に書

いてございます教材提示装置というものは、ここに括弧して書画カメラとプロジェクタと書いてありますけれども、もう1つスクリーンがございまして、この三位一体で手元にある教材を大きく映し出して共有するということでございます。教育長御指摘のとおり、使用頻度に関してはまだ課題があるのですけれども、先ほどお話が出たGIGAスクール構想などでは、例えば、1人1台のタブレットパソコンがあれば、今まで模造紙に書いて黒板に貼って、みんなで共有していたような作業が、一瞬にしてこのプロジェクタ、スクリーンなど、それからタブレットコンピュータで共有してできることとなりまして、いわゆる考える時間ですとか、議論する時間というのがたっぷりとれるようになりますので、令和2年度中にしっかりと検討して、令和5年度までの整備に備えたいと考えております。

安達生涯学習政策課長 3点目の生涯学習に関わるウェブサイトの構築という点でございますけれども、やはり使っていただくことを、より考えていかなければいけないという点から、高齢者にとっても、また障害のある方にとっても使いやすいウェブサイトを構築していきたい。これから検討になりますけれども、というふうな方向で行きたいと思っております。

渡邊教育総務課長 答弁漏れがありまして、すみません。配備に関してですけれども、教材提示装置に関しましては、普通学級、特別支援学級の固定級に配備済みなのですが、それを令和2年度特別支援学級の通級のほうに配備するという状況でございます。

笠原委員 分かりました。

1点、がん教育に対しましては、今、伺って、八王子は3大学の病院が充実している土地かと思っておりますが、がんの専門の先生はお忙しいに決まっているので、そんなにたくさんの人数はいらっしやらないのですね。お1人が10校なんて絶対お持ちになることは無理だと思うので、例えばですけれども、メディカルソーシャルワーカーさんとか、ナースで専門ナースがいらっしやるのではないかと思うのですけれども、特に令和4年度に先駆けてということでもありますので、少し試みとしてドクターだけでは、恐らく中学校全部は無理じゃないかと思っておりますので、色々な職種の方の話を聞くということも勉強になると思っておりますし、ぜひ、そんなふうにも幅広く考えていただけるのもいいかなとちょっと思っております。

安間教育長　それでは、事務局のほうで検討してください。よろしゅうございますか。

川島委員　1点だけちょっと確認なんですけど、6ページの東京2020大会観戦交通費を計上されているというのは、これはもう連れて行くんだという決意表明ということによろしいですか。

安間教育長　今の時点で、全員を連れて行くという思いに揺るぎはございません。

川島委員　分かりました。ありがとうございます。

安間教育長　よろしゅうございますか。

それでは、報告として承らせていただきたいと思います。

安間教育長　続きまして、保健給食課から3件、報告をお願いします。なお、これら3件は相互に関連しますので、一括で報告をお願いいたします。

田倉保健給食課長　令和元年度八王子市学校保健会表彰の受賞校決定について及び令和元年度東京都教育委員会表彰（健康づくり功労）の受賞校決定について並びに令和元年度全国健康づくり推進学校表彰受賞校の決定について、関連がありますので3件あわせて御報告をいたします。

まず、初めに、4枚目の資料を御覧ください。この表は、今回御報告いたします各表彰を取りまとめたものになります。左から八王子市、東京都、全国となっております。

表彰の成り立ちにつきまして、平成29年度の一番左側、由井第三小学校、ひよどり山中学校を例にとって御説明させていただきます。

由井第三小学校とひよどり山中学校は29年度に八王子市表彰を受賞し、その翌年に東京都に推薦いたしました。結果、30年度に東京都表彰で受賞したことから日本学校保健会表彰に推薦し、令和元年度表彰されました。各受賞校は翌年に推薦をしていくという仕組みとなっております。

これを踏まえまして、最初の資料にお戻りいただきまして、表彰3件について御説明させていただきます。

まず、初めに、令和元年度八王子市学校保健会表彰の受賞校について御説明をいたします。

2、報告内容の目的については記載のとおりでございます。

選定については、学校保健活動の状況調査をもとに、八王子市学校保健会の理事からなる表彰委員会を開催し、すぐれた保健活動や特色ある保健活動をしている学校を審査し、八王子市学校保健会優良校表彰要綱に基づき、優良校として小・中各1校、努力校として小学校4校、中学校2校を決定しております。

令和元年度の優良校を受賞いたしましたのは由木中央小学校と鎌水中学校でございます。

受賞校の主な取組は記載のとおりでございますが、由木中央小学校では、特に薬物乱用防止教室について自校と他校の学校薬剤師の協力を得て実施し、6年生全クラスに学校行事として授業を行っている点が評価されました。

裏面を御覧ください。鎌水中学校でございます。特筆すべき点として、生命誕生、市の赤ちゃんふれあい事業を活用した赤ちゃんと助産師とのふれあいや性感染症の授業などが評価されました。

努力校は大和田小学校、横山第一小学校、由井第三小学校、松枝小学校、中山中学校、松木中学校となっております。

2月13日開催の学校保健大会におきまして表彰を行いました優良校2校につきましては、令和2年度東京都表彰に推薦いたします。

次に、令和元年度東京都表彰の受賞についてでございます。

今年度は館小学校、館中学校が学校保健安全分野の優秀校として表彰を受けましたので、御報告いたします。

本市では、先に報告いたしました八王子市学校保健会で表彰を受けた優良校の2校を翌年の東京都の表彰に推薦をしております。今回受賞となりました館小学校、館中学校は、平成30年度の八王子市学校保健会表彰の優良校ということになります。

主な取組ですが、館小・中学校では小中一貫校の特性を活かし、9年間の健康課題の解消に取り組んでいる点を評価されたということでございます。

今回、館小・中学校は優秀学校として表彰されました。なお、館小・中学校が表彰されました学校保健安全分野としましては、健康づくり優秀学校が小学校1校、特別支援学校1校、館小・中学校が小中一貫校として計3校、健康づくり優良学校が中学校3校が表彰されました。

令和2年度は日本学校保健会が主催する全国健康づくり推進学校表彰に推薦を予定しております。

続きまして、3件目の令和元年度全国健康づくり推進学校表彰の受賞校になります。

平成29年度に市の優良校となりまして、東京都の表彰結果等も参考にし、本市学校保健会理事会において幹事長の意見をいただき、推薦をし、このたび由井第三小学校とひよどり山中学校が受賞いたしました。

由井第三小学校の主な取組として、食育の取組を年50回以上行っている点などが評価されたということでございます。

ひよどり山中学校の主な取組ですが、心肺蘇生法教育、AED等を使ったものですが、こちらの命の教育などが評価されたということでございます。

なお、全国規模で行われたこの表彰の受賞校でございますが、最優秀校は全国で6校、優秀校は10校、優良校が70校になります。70校の中に東京都の学校が由井第三小学校、ひよどり山中学校含めて4校でございます。

報告は以上でございます。

安間教育長 只今、保健給食課からの報告は終わりました。3件一括して御質疑はありませんか。よろしゅうございますか。

それでは、報告として承らせていただきたいと思います。

安間教育長 続きまして、指導課から2件続けて報告をお願いします。

大日向指導課長 八王子市立小中学校合同作品展第15回「おおるり展」の実施結果を報告させていただきます。

お手元に配付してあります資料を御覧ください。

報告内容です。開催日時は令和2年1月16日(木)から20日(月)までの5日間。午前10時から午後8時。最終日のみ午後3時までで開催いたしました。

会場は、前年度同様エスフォルタアリーナ八王子の多目的室及び会議室でございます。

多目的室では図工、家庭科、美術、会議室では書写及びPTAの作品を展示いたしました。また、同時に生涯学習スポーツ部が青少年海外交流事業のパネル展を開

催しており、多くの方が足をとめて御覧になっている様子が見られました。

開催期間中の来場者数の合計は1万2,533人で、昨年度を上回っております。特に3日目は、朝から夕方まで冷たい雨が降り続き心配いたしました。土曜日としては昨年度とほぼ変わらない数の方々に来場していただき、会場内は熱気に包まれておりました。

次に、アンケートについてです。資料の裏面を御覧ください。アンケートの回収数は3,985枚でした。「とてもよかった」、「よかった」の合計が99.6%と大変好評でございました。

開催にあたりまして、小・中学校のPTAの皆様には平日だけでなく、土曜、日曜、夜遅くまで、受付をはじめ、多大なる御協力をいただきました。また、先生方にもお忙しい中、準備、撤収作業だけでなく、会場の巡回なども行っていただきました。多くの皆様の御協力により、無事に5日間を終えることができ、大変感謝しております。

令和2年度についてですが、令和3年(2021年)1月14日(木)から18日(月)まで。会場は今年度と同じエスフォルタアリーナ八王子多目的室及び会議室での開催を予定しております。

報告は以上です。

安間教育長 只今、おおるり展に関する報告をいただきました。

本件について、御質疑ございませんか。よろしゅうございますか。

例年申し上げていることですが、前年の数値などとの比較はしなければいけないのかもしれませんが、学校や保護者の方が一生懸命頑張っているのだから、参加が上がったの、下がったので一喜一憂するのはやめましょう。学校ごとに教科の進み具合だとか色々あるわけで。例えば、家庭科の出品数が減ったからって、何で減ったんだとか、そういうような発想ではなく、ぜひ、子どもたちのより良い活動を我々が認め、そして子どもたちに自信を持ってもらう、この本来の目的のところをちゃんと押さえておきたいなと思っております。くれぐれも御協力をいただきました保護者の皆様方に、委員一同で感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

安間教育長 それでは、引き続き指導課から報告をお願いします。

上野統括指導主事 それでは、第11回中学生「東京駅伝」大会の結果につきまして、担当の福島指導主事より御報告いたします。

福島指導主事 第11回中学生「東京駅伝」大会は、令和2年2月2日（日）に味の素スタジアム内にございますアミノバイタルフィールド都立武蔵の森公園特設周回コースで行われました。

開会式では昨年度優勝市であります本市が選手宣誓を行い、男子キャプテンの由井中学校生徒の堂々たる立派な宣誓が会場全体に響き渡り、すばらしい開会式となりました。

競技としましては、女子の部が距離30キロを選手16名で、男子の部は42.195キロを17人でたすきをつないでまいりました。午前中行われました女子の部では、1区で4位からのスタートでした。しかし、徐々に順位を上げ4区で2位となり最終16区まで2位を守り、1時間50分02秒でゴールしました。

午後に行われた男子の部では、1区で19位とやや出おくれたところもありましたが、徐々に順位を上げ、6区では10人抜きなどすばらしい活躍等もあり、8区で3位まで浮上し、一時は2位の世田谷区と20秒差まで近く迫りました、結果は第3位でゴールをしました。なお、この男子の結果は第3位でありましたが、昨年度の男子の部で優勝した時の記録を1分05秒更新し、これまでの最高記録となり特別賞を受賞しました。女子のタイムと男子のタイムをあわせた総合の部では第2位となりました。4時間09分58秒という記録は、本市が過去に残した記録を47秒更新し、過去最高記録であります。

裏面に過去の大会結果を載せておりますが、本市はこれまで総合の部で必ず第3位までに入っております。これは全ての参加自治体の中で本市だけであり、今大会ではこの伝統を守り通すことができました。

今回のチームは予定していた10月と11月の2回の選考会が台風や雨の影響で中止となり、12月1日ようやく選考会が実施されました。例年よりも練習開始が遅れてしまいましたが、その後は10回の練習会等を行い、昨年度果たした完全優勝をもう一度という気持ちで選手、監督、コーチが一丸となって臨みました。昨年度優勝市ということで、練習会や試走会においてもマスコミの取材が例年以上

に入るなど、緊張する場面が多くありましたが、当日は選手がそれぞれで持っている力を出し切った結果が総合第2位であり、帰りのバスの中では安堵感と充実感に満ちておりました。

なお、令和2年3月5日(木)に選手、総監督、監督、コーチが市長や教育長を訪問しまして、この結果について報告をさせていただく予定でございます。

報告は以上です。

安間教育長 只今、報告は終わりました。

本件について御質疑はございませんか。よろしゅうございますか。

市内のさまざまなスポーツ団体の方々とお会いするときには、市内の子どもたちも頑張っているんですよと紹介するようにしていきまして、皆さんも褒めてくれます。もっともっと褒めても褒め足りないぐらいだろうというふうに思います。結果ではなくて、頑張っていることに。

小中の校長連絡会でもあなたたちがちゃんと育てた子どもたちがこういうふうに活躍しているのですよと、よく話しているのですけれども、そういう意味でも小学生にも中学生の頑張りを伝えてくださいという話はしています。子どもたちに敬意を表したいというふうに思っておりますけど、この場でも八王子の子どもたちに、よく頑張ったね、おめでとうと伝えてあげたいというふうに思います。

ありがとうございました。

安間教育長 それでは、続きまして、教職員課から2件続けて報告をお願いします。

溝部教職員課長 それでは、高齢者叙勲の受章について及び死亡者叙位の受章について、担当の今井課長補佐から説明いたします。

今井教職員課課長補佐兼主査 高齢者叙勲の受章について御報告いたします。

受章者につきましては、元 八王子市立石川中学校長、長谷川義次様でございます。

受章内容は、瑞宝双光章でございます。

発令日は、令和2年2月1日(土)でございます。なお、本受章者の推薦については、令和元年10月2日の教育委員会定例会において議決をいただき、10月4日付で東京都教育庁に推薦書を提出したものでございます。

引き続きまして、死亡者叙位の受章についてを御報告をさせていただきます。

受章者は、元 八王子市立第五中学校長、内藤十一様でございます。享年 87 歳でございます。

受章内容でございます。叙位は正六位でございます。

発令日は、令和元年 12 月 31 日（火）、お亡くなりになった日でございます。

報告は以上となります。

安間教育長 只今、教職員課からの報告は終わりました。

本件について、御質疑はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、お二人の先輩方に心より敬意を表したいというふうに思います。

以上で、公開の審議は終わりますが、委員の方から何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 ないようであります。

それでは、ここで暫時休憩にいたします。なお、休憩後は非公開となりますので、傍聴の方は退席をお願いいたします。再開は 3 時 5 分とさせていただきます。

【午後 2 時 54 分休憩】